

新プリウスで冬の山陰へ

グルメと温泉のハイウェイドライブ。

寒くてなかなか部屋から抜け出せない今日この頃だけどもたまには思いきつて外に飛び出してみよう。旬の味覚、安らぎの湯、情緒ある冬景色を求めて欲張りに楽しめるロングドライブを計画。燃費の良さとパワフルな走りを実感するため、新プリウスでさあ出発。

一日目

吉備高原を駆け巡った後は、高速ドライブをエンジョイ 冬の日本海、浜田へ

ハリウッドスターも注目する

環境と走りを追求した新時代の車に乗る

高速道路を暢々と走る新プリウス。モーターエンジンとのパワーの相乗効果で実現した快適性だ。

吐く息が白く見え始めた初冬の朝、2005年11月に登場したばかりの新プリウスに乗って岡山市街地を出発、ロングドライブに出かけた。近頃色々な所で話題となっている環境問題の中で、低排出ガス採用の環境に優しい車はいくつかあるけれど、この新プリウスは『ハイブリッド・シナジー・ドライブ』というコンセプトのもと、世界トップレベルの環境性能と低燃費でドライブすることの楽しさを実現した車として、熱い注目を浴びている。評判を実証するにはもってこいの今回のドライブ。まず岡山市街地を出て岡山ICから岡山道に入り、最初の目的地吉備中央町方面に向かう。



冬色に色付いた山々の間に 郷愁誘う原風景を探しに行く

冷え込んだ朝の高原にはまた一面に霧が立ちこめていた。その間を縫う様に新プリウスは爽快に走って行く。有漢ICを降りてまず最初に向かったのは常山公園「風の舞台」と呼ばれる高台に7つの石で出来た大きな風ぐるまがそびえている。まだ霧が薄くかかる風ぐるまの公園は何か幻想的で別世界に迷い込んだ感じ。園内には他にも城の格好をした展望台や地元の特産品を販売しているレストハウスなどがある。常山公園を出てさらに山あいを運転していくと、運良く雲海の景色に出合った。でも曲がりくねった道が多いので、ドライバーは協見は厳禁！

吉備高原の中に突然現れる7つの風ぐるまのオブジェは、さながら石の巨人のよう



次に着いたのは円城ふるさと村。

鎌倉時代中期に形成された門前町で、円城寺を中心にかつては酒屋や雑貨屋、宿屋などが軒を連ね活気溢れた町だったそう。時代の移り変わりと共に当時の賑わいはなくなっていたものの、そこにはふるさととの温かな原風景が残り、初めて訪れたのに何故か懐かしい気持ちになる。円城寺の山門をくぐり境内を歩いてみた。寺周辺にはかつての繁栄を忍ばせる建物が点在しており、少し足を伸ばして散策するのも楽しいかも。

よく見えて。こんなに大きいのに時々風を受けてゆっくりと風ぐるまの羽根が動くから



●常山公園

0866-57-3322／高梁市有漢町有漢4882-1／城型展望館は8時30分～17時／城型展望館は水曜休（祝日の場合は翌日休）

山里を歩き回ったらかお腹が空いてきた。加茂川庁舎近くに落ち着いた雰囲気を楽しみながら食事が出るお店を発見。明治14年に建てられた旧家片山邸は、江戸時代の日本建築様式を一部残した文化的評価の高い建物。その一階土間部分を利用して営業されている茶房かたやま邸で、評判のランチを昼食に。地元の主婦の方がこの地で採れた旬の野菜や季節の食材で作る「気まぐれ弁当」は、ここでもしか味わえない心のこもった料理を、一品ずつ彩り良く盛り合わせたもの。店内には囲炉裏もあり、希望すればそこで食べることも可能。

「周 | 辺 | ス | ポ | ッ | ト |

岡山県の中心で何を叫ぶ公園内は晴れが良く、子供連れで来てでも思っ分駆け回れそうな広さ



●いわくら公園

岡山県の中心を位置するシンボルモニュメントがある。吉備高原のパノラマが開けた広い敷地にはあちこちに休憩所もあり、緑いっぱいの中を散策できる。
0866-54-1301 (吉備中央町商工観光課) / 加賀郡吉備中央町上田西1981-1



円城ふるさと村には昔懐かしい家並みがそこかしこに点在している

円城寺山門は当時の様式をそのままとめた貴重な建物。両端には仁王像が寝みある形相で構えている

●円城ふるさと村

0866-54-1301 (吉備中央町商工観光課) / 加賀郡吉備中央町円城



円城寺境内を散策。静けさと心地よい空気に包まれている



片山邸は明治新政府で地租改正を担当した漢学者、片山重範の生家。邸宅内には資料も展示している

茶房かたやま邸のお昼の評判(ばきまぐれ弁当)(850円)。内容は日替わりで多少変わってくる

●茶房かたやま邸

0867-34-0747 / 加賀郡吉備中央町下茂茂15-1 / 9時~16時(10月~3月) 9時~17時(4月~9月) / 水曜・日曜休



百姓屋敷と呼ばれる造り酒屋の旧家。白黒のコントラストが美しい塙と、立派な瓦屋根が目を引く



●しまね海洋館アクアス

0855-28-3900 / 島根県浜田市久代町1117-2 / 9時~17時 / 火曜休(繁忙期は営業)、祝日の場合は翌日休 / 入館料、大人1500円、小・中・高校生500円 / <http://www.aquas.or.jp/>



ダイバーの指示に答える賢い白イルカ達のつづらな瞳を見ていると癒される。お勤めの和みスボット

山陰を目指して、長距離ドライブ
今度は海を楽しみたい
賀陽ICに引き返し再び岡山道に入る。目指すは島根県の浜田。山陰の海の景色に今からワクワクしながら自然とアクセルを踏んでいた。車はスムーズにスピードアップしていく。何だかとても快適な気分。北房JCTから中国自動車道に入り西へ一直線、広島県の千代田JCTから浜田道を北へ向かった。会話や音楽を楽しんでいる内に意外に早く山陰まで到達できた気がした。浜田JCTから江

「周 | 辺 | ス | ポ | ッ | ト |



青空をバックに、白い壁と曲線に繋がるガラスが美しい建物

●浜田市世界こども美術館

「日本海に漂う創造と美の船」をイメージした美術館。様々な分野の企画展を開催する他、世界の児童画を常設展示。大人から子供まで参加出来る創作教室も行われている。
0855-23-8451 / 島根県浜田市野原町859-1 / 9時30分~17時 / 月曜休(祝日の場合は翌日休) / 入館料(企画展により異なるので要問合せ)
<http://fish.miracle.ne.jp/hama-b/>

津道を走り、浜田東ICを降りて国道9号沿いにある水族館「しまね海洋館アクアス」に到着。ここでは西日本唯一の白イルカのショーの見学がおすすめ。ライトを落とした場内で青白く光る水槽の中で、体長3mもある白イルカが3頭ダイバーと戯れるように華麗な水中芸を披露する。館内は中四国最大級の広さで、バラエティー豊かな施設があり1日中いても楽しめそうだ。
次に向かったのは浜田市の海の玄関口浜田港。そのすぐ横にあるのがしまねお魚センターだ。場内には浜田港で水揚げされた新鮮な魚介類が所狭しと並び、活気の良い売り声が飛び交う。購入してすぐその場で七厘で焼いてくれるコーナーもあり、食べて新鮮さを実感できるのも楽しみのひとつ。外に出れば、山陰特有のグレーの曇り空にオレンジの夕日が差し日没が近づいていることに気付いた。そろそろ今夜の宿に向かうことにしよう。



浜田港のすぐ横にある浜田マリン大橋



冬の味覚と言えばやっぱりカニ! 生でも焼いても鍋にしてもいい。どれが一番大きいかな?

●しまねお魚センター

0855-23-5500 / 島根県浜田市原井町3050-46 / 9時~19時 / 火曜休(祝日の場合は営業)
<http://www.netmarketweb.com/accessjsea/simane/>



お土産に海産物を買うのも山陰の旅の楽しみのひとつ。どれもこれも美味しそうに目移りしてしまう

新プリウスで冬の山陰へ

グルメと温泉の
ハイウェイドライブ

天然温泉に浸かって癒され 日本海のカニの美味しさに感激

日の暮れた山の中を進んで行くとや
つと見えて来た有福温泉の看板。その一
角にあるのが今回の宿旅館樋口だ。創
業明治20年の老舗旅館で、館内のあち
こちに灯る和紙で出来た照明が温かな
雰囲気を出している。到着後早速料理
を堪能する。予約しておいたカニのフルコ
ースは結構贅沢な値段だが1人に1玉
のカニが刺身や焼きガニ、天ぷら等様々



ずらり並んだ松葉カニ会席。カニ料理の他にも食前酒として出る自家製のバラ酒も好評

●旅館 樋口

0855-56-2111 / 島根県江津市有福温泉町695 / 一泊2食カニ会席付
24150円～

<http://www.arifuku.com/>

な調理法で出される。味は間違い
なく絶品。旬のカニが美味しく食べ
られると評判で、九州や関西方面
からもはるばるやってくるという。
ここは奮発して食べるしかない！風
呂も自慢のここ樋口の湯は源泉か
け流しで、日本の天然温泉20にも
選ばれている。冬の美味と温泉を
堪能して大満足の夜になった。



選べる色浴衣に着替えて、思いっきりカニ三昧。お
腹が満ちた後は温泉三昧



カニすき鍋。鍋には他にハク
サイ、シロネギ、エノキ、シタ
ケ、豆腐などを入れる



生でたべてもいいくらい鮮度の
いい焼きガニも、身がたっぷり
詰まっている



甲羅に入れて炭火で焼くカニ
味噌は甘味があり、コース内
でも評判の一品



お造りのカニの刺身は、口
に入れたらとろけるような食感



情緒ある温泉津から海岸線を一路松江へ 雄大な大山の風景に感嘆

史跡が残る温泉街の探訪と
悠久の時を刻む大砂時計に圧倒

どんよりと曇って小雨がぱらつく二日目の朝、チェックアウトを済ませて次の目的地へと出発。最初に向かうのは温泉津温泉街。島根では有名な温泉地のひとつ。日本海を横目に国道9号を進む。ほどなく温泉津に到着。町の建物のほとんどに石州瓦という赤い瓦が使われた歴史を感じる温泉街だ。中心部に入っていくと元湯がある。館内は朝からかなりの賑わい。古来より万病に効くと言われるそうだが、お肌にもいいと評判らしい。すぐ近くには巨大なぼり窯のあるやきものの里や、江戸時代に当時日本最大といわれた石見銀山跡に繋がる銀山街道などもあり、時間があればぶらぶら歩いて当時の面影を探訪してみるのもいい。



●温泉津温泉元湯

0855-65-2052／島根県太田市温泉津町温泉津口-208-1／5時30分～21時／無休／入浴料300円



館内にある一年計砂時計を見上げる。大晦日には恒例の砂時計に繋がる綱を引き180度回転させるイベントがある



温泉津やきものの里にあるのぼり窯は10段と15段のものがあり、全国でも最大級といわれている



山の中にひっそりとある銀山街道跡を歩いてみる。かつての繁栄と時間の経過が実感できる

温泉街を後にして再び国道9号を走る。道沿いにガラス張りのピラミッドのような不思議な建物を発見。これが仁摩サンドミュージアムだ。館内にはサンドアートや1年計砂時計と呼ばれる世界最大の大砂時計が納められている。外観デザインは、エジプトのピラミッドの墓室の中

にあつたと言われている。鳴り砂と仁摩にある琴ヶ浜の鳴り砂が似ていることからピラミッドの形にしたそう。館外には広い敷地に町民がスポーツを楽しむレクリエーション設備が整っている。

●仁摩サンドミュージアム

0854-88-3776／島根県太田市仁摩町天河内975／9時～17時／第1水曜休／入館料、大人700円、小・中学生350円(土日は100円)
<http://www.nima-cho.ne.jp/museum/>



サンドアートは全て砂を材料に使用して作られた作品。色々な角度に動かして鑑賞できる作品もある

海岸線のドライブを楽しんだ後 こだわりの出雲そばに舌鼓

仁摩から国道9号を出雲までひた走り、赤道ICから山陰道にのり松江玉造ICで降りる。しばらくロングドライブが続いたけど、運転しやすい新プリウスなら疲れ知らず。松江市街に入って、狭い

道でも駐車場でも先進技術の搭載されたこの車なら安心。古い城下町をすり抜ける未来指向の新プリウスが、不思議と町並みに溶け込んでいる気がした。ナビをたよりに程なくお目当ての出雲そばの店へ到着した。神代(かみよ)そばは地元島根のそば粉を中心に、北海道、鹿児島産の玄そばを用いて自家製粉しそばを打つという。つなぎを入れない生粉打ちのめんはこしが香りもいい。だしには出雲の地酒を使用して作っており独特の風味がある。出雲名物の割子そばを堪能した後は、ちよと車を降りて城下町を散歩してみようかな。



他にもある出雲そば

●ふなつ

0852-22-2361 / 島根県松江市
市外中原町117-6 / 11時～20時 / 月曜休

●一色庵

0852-31-7180 / 島根県松江市
市殿町123-1 / 11時～16時 / 火曜休 (祝日の場合は営業)

●きがる

0852-21-3642 / 島根県松江市
市石橋町400-1 / 11時～19時 / 火曜休

●荒木屋

0853-53-2352 / 島根県出雲市
市大社町杵築東409-2 / 11時～17時 / 水曜休 (不定休で連休とることもあり)

●上田そば店

0852-21-3815 / 島根県松江市
市西茶町52 / 11時～20時 / 日曜休

周 | 辺 | ス | ポ | ッ | ト |

●明々庵

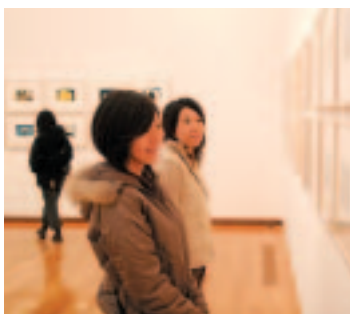
茶人としても名高い不昧公が1779年に家老有沢式義邸に建てた茶室。中では抹茶を味わいながら一息つくことが出来る。

0852-21-9863 / 島根県松江市
市北堀町278 / 9時～17時 / 無休 / 入園料400円



城下町の中には小説家の小泉八雲記念館や武家屋敷等があちこちに点在している。

松並み木、静かな水面の池、古い屋敷の数々、散策しながら美しい日本の風景に改めて感銘



植田正治ならではの独特な構図で撮られた写真が多く、彼に影響を受けたデザイナーやミュージシャンもいる



名物の山菜割り子そば。とろろ、山菜、卵と違った味わいを楽しめる



ぼてぼて茶の中に入れる具材は特に決まりはないそう



城下町の中の走行にも環境に優しい新プリウスはぴったりだ



へるんの小径で出るぼてぼて茶。食べ方はまずお茶を一口飲みその後具材を全て入れて頂く

●へるんの小径

0852-24-0024 / 島根県松江市殿町488 / 10時～17時 (12～2月は10時～16時) / 水曜休 (祝日の場合は翌日、3～11月は無休)



雄大な大山の麓の美術館で新鮮な感覚を持つ写真に感動

松江を出て東出雲1Cから安来道にのり、米子から県道159号を通り大山を目指した。冬の山陰ではなかなかはっきりとした雄姿をみせることのない大山だけど、天気が良くなることを願いつつ新プリウスを走らせる。目的は麓にある植田正治美術館。広大な田園風景の大山を望める絶好のロケーションにモダンな建物の美術館が佇む。館内には鳥取県出身の写真家植田正治のモダンな感性が詰まった数々の作品が展示され、

新プリウスで冬の山陰へ

グルメと温泉の
ハイウェイドライブ



さっぱりとした喉ごしでスルスルといける。松江に来たらやっぱり出雲そばを食べなくちゃ

●神代そば

0852-21-4866 / 島根県松江市米子町55 / 10時～19時 / 水曜休
<http://www.e-kamiyo.jp/>

しっとり城下町を訪ね歩き 日本情緒を再発見

松江城を中心として発展した松江は、茶人としても名高い不昧公(松平治郷)の風流な感性が今も残るしっとりとした城下町。堀の外をゆったり流れる川には時折屋形船の行き交う姿も見られる。付近には散策にもついでこの観光スポットや小径がたくさんある。そんな散策道の途中に小さな茶屋を見つけた。へるん

の小径」という茶屋で最近話題のおやつ「ぼてぼて茶」を頂くことにした。出雲地方に昔から伝わる独特なお茶で、泡立ったお茶の中に一緒に出てくるあられや黒豆等の具材を入れて、まるでお茶漬けをさらさらと頂くように飲む、今までにない初めての味わいを体験した。

松江市周辺のおすすめ立寄りスポット

●ルイス・C. ティファニー 庭園美術館

ステンドガラスの窓やテーブルランプ、花瓶、ジュエリーなどルイス・C. ティファニーの超一流のコレクションを堪能出来る。宍道湖を一望出来る園内のイングリッシュガーデンも美しく、散策が楽しめる。

0852-36-3111 / 島根県松江市西浜陀陀町369 / 9時～17時30分 (10～3月は16時30分まで) / 無休 / 入館料2000円
<http://www.l-c-tiffany-garden-museum.co.jp/>

●松江フォーゲルパーク

フォーゲルとはドイツ語で鳥のこと。世界でも珍しい花と鳥の公園。展示温室には数千種類の花々が咲き、鳥の温室や園内で百種類もの鳥たちに会える。

0852-88-9800 / 島根県松江市大垣町52 / 9時～17時 (10月～3月)、9時～18時30分 (4月～9月) / 無休 / 入園料、大人1500円、小・中学生750円
<http://www.vogel.jp/>

その美しさと斬新さに時を忘れて吸い込まれ見入った。また館内数カ所に美しい大山の姿をトリミングした様に見られる場所があり、そこからの眺望も必見。夕日が傾いて来た。そろそろ岡山に向けて帰り支度をするにしよう。溝口ICを上がり米子道を南に下る。新プリウスの高速道での快適な走りはすでに立証済みだけど、実感出来たのはやっぱり低燃費。これだけの長距離ドライブでこの燃費の良さはやっぱりすごい。運転疲れも今の所ほとんどなく、帰路でも余力がまだまだ残っている感じ。



美術館の建物も写真と同じく独特なデザイン。フォルムの美しさが好評の新プリウスは主たる美術館に映える

館内はゆったりと写真を鑑賞出来るようになつており、座つてつらがるスペースもある



●植田正治写真美術館
0859-39-8000／鳥取県西伯郡伯耆町須村353-3／9時～17時／火曜休(祝日の場合は翌日休)／入館料、大人800円、高校・大学生500円、小・中学生300円
<http://www.japro.com/ueda/>



目木構の門前にある棕の木の大木が目印。辺りはのどかな田園が広がる

●目木構
0867-52-1183(真庭市教育委員会文化財課)／真庭市目木

久世ICを降りてすぐの目木構。大きな看板はないので事前に場所をチェックしておいた方がいいかも



田園風景の中に時を刻む風情ある建物と巨木を眺める
夕食の時間にはまだ少し早いので、途中ちよつと寄り道して久世ICを降り、江戸時代に建てられた由緒あるお屋敷を見学に向かった。目木構という名の建物は、その昔大庄屋の福島家の屋敷として建てられ、現在は老人ホームの一部になっている。豪壮な建物の周囲は濠で囲まれ、門前には樹齢680年の見事な棕の木(ムクノキ)の大木がそびえていた。建物と樹木はともに旧久世町の文化財に指定されている。

有名人も足しげく通うという焼肉の名店でスタミナ補充！

そろそろお腹も空いて来た。再び久世ICから高速道にのり院庄ICで降り津山市街に入る。県北ではかなりの有名店という焼肉屋「千恵」で隠れた名物と言われている絶品鍋を食べることにした。「千恵鍋」と呼ばれるその鍋は、しょう油をベースにした和風だしの中に、ハラミやホルモン、季節の旬の野菜、豆腐などを入れて一緒に煮込んだもの。溶き卵を入れた小皿に取り分けて頂くのは焼きに似た感じ。食べ始めはあっさりとして、徐々に肉と野菜の旨味がだしに溶け込んで行く。この鍋や焼肉の美味しさに惹かれて有名人も時折顔を見せるそうだ。



寒い季節にはやっぱり鍋料理が一番。美味しさのあまり慌てて食べてヤケドしないだね

●焼肉 千恵
0868-25-2929／津山市小性町39／11時～14時30分、17時～21時／月曜休



まかない料理だったものから創案されたのが千恵鍋。隠れた名物のはずが今ではすっかり表の名物に…



無事に帰って来ればほっと一安心。快適だったドライブに大満足で何だか運転に自信が付いた感じ



燃費画面。燃費料も一目で確認出来る



エネルギーモニター画面。運転中のエネルギーの流れもリアルタイムで表示される

美味しいものを食べてお腹も満足、心も満足の一日。二日の今回のドライブで、新プリウスは1リットル当たり高速道21.1km/L、25.1km/Lの燃費を立証した。ガソリン高の今、この低燃費はとっても経済的。さあ次は何処に出かけようかな…